

2-2-4 第4分科会「環境と食品の安全化学」

担当者 岩田吉弘 受講学生6名

活動概要： 各自が環境と食品に関する話題を取り上げ、安全と化学の立場から調査、研究した。さらに中学校における総合学習としての立場から、調べ学習への動機付けと学習者が身につける力について考察した。以上の内容を取りまとめ、活動報告をおこなった。

活動風景：





受講学生の感想（受講生の受講カードより抽出）

- 今回、成書でテーマを探しましたが、自分の中では身近にある「食品添加物」について調べようと思いました。私たちが考えていることが本当に正しいかなどを調べていきたいと思います。（11月4日の感想より）
- 研究テーマの動機付けが曖昧であることに気付かされた。子どもたちは「何に」興味関心を持つのか考えていきたい。具体的に「何を」調べるのかを明確にしていきたい。（11月18日の感想より）
- 以前の講義で明らかになった問題点から、教師が1つの課題について調べさせることによって、生徒たちも調べ損をすることもなく調べさせることが出来ると思いました。ただ単に「調べ学習」と言っても、やり方には気を付けていかなければならないと考えます。（11月25日の感想より）
- 今まで研究してきた内容を全部紹介出来ればいいが、発表時間が2分20秒だったので、コンパクトにまとめる作業が難しかった。来週の全体発表会では上手に伝えられるよう頑張りたい。（1月27日の感想より）